

白神岳&八甲田山山行報告

【山行日】2022年 6月24(金)~26(日)

【集 合】栃木市運動公園 P AM 3:30

【費 用】マイカー1台 : 37,500円

【メンバー】CL:鈴木、SL:廣瀬、
青柳、嶋田、関

6月24日(金) 十二湖ビジターセンターで学習し、アオーネ白神でランチ後十二湖を散策する。

栃木市運動公園 P3:30=十二湖ビジターセンター10:30/11:30=アオーネ白神 11:40/12:30=

森の物産館キョロロ 12:40/13:00~鶏頭場の池 13:10~青池 13:30~森の物産館キョロロ
13:50/14:00=汐ヶ島 14:20

山行アンケートで八甲田山のリクエストがあり、新緑の白神岳と併せて計画した。1日目の今日は移動日で、栃木市運動公園 P を3時30分に出発し10時30分に十二湖ビジターセンターに着く。出発前の天気予報では、台風4号から変わった低気圧が東北付近に停滞し、3日間共雨の予報になっていた。我々がビジターセンターに着くとドシャ降りの雨になり、車を駐車場に止めビジターセンターへ駆け込む。ビジターセンターで十二湖の魅力を学ぼうとしたが、モニターテレビが故障中で



ビデオを見ることが出来ない。仕方がないので展示室を見学し、雨が収まるのを待つことにする。

1時間程待つと雨は小降りになり、車でアオーネ白神十二湖へランチを食べに行く。車で10分程走りアオーネ白神十二湖に着くと、雨は止んだが風が強く吹いていた。ここにはコテージなどの宿泊施設や温泉があり、十二湖観光やトレッキングの滞在拠点に便利な自然体験型宿泊施設である。

我々はレストラン「アカショウビン」へ向かい、ランチをいただくことにする。レストランは立派でホー

ル内も広く、奥の窓際の席に案内される。メニューの中のお勧めランチをオーダーし、しばらくおしゃべりしているとランチが運ばれてきた。料理は地元深浦町の食材をふんだんに活用した料理で、深浦近海の魚介類や山菜・キノコ、幻の魚イトウを使っている。次々と料理が運ばれてきたが、どれを食べても美味しく皆さん大満足の様子。ランチが済んで外に出ると雨が上がり明るくなっている。

これなら歩けると思い十二湖に戻って、青池に1番近い森の物産館キョロロの駐車場に向かう。

物産館前の広い有料駐車場に車を止め、森の物産館キョロロを覗いてトイレを済ませる。ここから遊歩道を歩いて鶏頭場の池を見ながら青池に向かう。池の畔を進むと直ぐに青池に着き、コバルトブルーの神秘的な池に歓声が上がる。陽が差すともっともっと明るいブルーになるが、今日の天気では見られただけで良しとする。階段を上がって上から見るとさらに青く見え、記念写真を撮ったら森の物産館キョロロへ戻った。車まで戻り2時になったので、少し早いが宿に向かうことにした。

途中海岸線に出て日本海の景色を楽しみ、そこからすぐに今宵の宿「汐ヶ島」に着いた。車を駐車場に止めると雨脚が強くなり、荷物を抱えて宿に駆け込む。部屋に落ち着いたら荷物を整理し、3時から交代で風呂に入り汗を流す。4時過ぎから反省会が始まり、まずはビールで喉を潤す。

H 瀬さんが持参した八海山純米吟醸が出され、会話を楽しみながら夕食まで盛り上がった。

6時から夕食になり食堂へ行くと驚いた。料理の数がハンパではない。大きいテーブルの向こう側までが一人前で、十数種類の料理が並んでいる。我輩は年々食べられなくなり、煮魚とお造り、鍋をつつただけでほとんど残してしまった。これでもかと並べられると、案外食べられないものである。もちろんお酒はいただき、お腹いっぱいになったら御馳走様して部屋に戻る。天気予報を見ると、明日も日本海側は雨風が強く登山に不向きの天気である。皆さんと明日の予定を相談し、皆さんが歩いてないという奥入瀬溪谷に行くことに変更し床に就いた。

6月25日(土) 汐ヶ島から奥入瀬溪谷石ヶ瀬に移動し、奥入瀬溪谷を散策し酸ヶ湯温泉へ。

汐ヶ島 8:00＝石ヶ瀬 11:20/11:30～ベンチ 12:35/13:05～銚子の滝 14:05/14:15＝休屋 14:30～乙女の像 14:45～休屋 15:00＝酸ヶ湯温泉 15:40

朝5時に起きて窓の外を見ると雨が降っている。5時 30 分からの天気予報を見ても、日本海側は一日中風雨が強い予報で白神岳登山は中止して正解である。7時から朝食をいただくが、朝食もおか



ずが沢山あり全部は食べ切れない。おまけに大きいおにぎりを「車の中で食べて」と全員に作ってくれた。ありがたくいただき、朝食が済んだら準備を整え奥入瀬溪谷に向かって出発する。

日本海に沿って海岸に付けられた国道101号線を走るが、最初は雨が降っていて海の色が茶色く濁っていた。ところが千畳敷海岸まで来ると晴れ間が出て明るくなり、海の色も青くとても綺麗に見えるようになる。青い海と岩の海岸が織りなす絶景に皆さん大喜びで、しばらくビーチドライブを楽しめた。

天気予報通り弘前から東は晴れていて、能代道から津軽自動車道を通して浪岡ICから東北道へ入る。東北道を青森市に向かって進み、青森中央ICで降りて八甲田・十和田ゴールドラインを走る。この道は青森市から十和田湖に向かうメインの道で、景色も抜群の山岳ロードである。

天気も良く新緑の高原を爽快に走り抜けるが、八甲田の山道に入ると暗い雲が出て来て雨が落ちてきた。焼山から奥入瀬溪谷を全コース歩く予定だったが、雲行きが怪しくなってきたので石ヶ戸から歩くことにする。石ヶ戸の駐車場に車を止め、皆さんは歩く準備をして奥入瀬溪谷歩道に向かう。我輩は車で銚子大滝まで行き、駐車場に車を止めて石ヶ戸に向かって下って行く。速足で下って行き、雲井ノ滝辺りで出会うかなと思っていたが、皆さんの足



が速く雲井ノ滝の手前で皆さんと無事合流した。ここからは皆さんと一緒に来た道を引き返し、銚子大滝に向かって遊歩道を登って行く。まずはお腹が空いているのでランチの場所を決める。下りながら目星をつけておいたベンチとテーブルまで行き、ここでお湯を沸かしてランチをいただく。

白神岳登山に用意したカップ麺やパンを食べ、ハラペコのお腹を満たした。

溪流を見ながら食べるランチはとても美味しく、皆さんもようやく食べられたランチにホッとした様子。



ランチが済んだら遊歩道を登って行き、玉簾の滝や白絹の滝、白糸の滝と見どころが連続するが、先頭の歩きが早くついて行くのが精いっぱい。もう少しゆっくり歩いて景色を楽しみましょうと言っているうちに、最後の銚子大滝に着いてしまった。銚子大滝は高さは無いが水量が多く迫力満点の滝で、奥入瀬本流に掛かる唯一の滝である。滝をバックに記念写真を撮ったら階段を上がり、駐車場に止めた車に乗り込む。ここから十和田湖に向かい、休屋の駐車場に車を止める。

ここから十和田湖畔の「乙女の像」に向かうが、風が強いので十和田神社への参道を進む。

樹林帯の中を歩くので風の影響が少ないが、乙女の像に着くと強風で飛ばされそうになる。何とかこらえて記念写真を撮り、湖畔の道を通って駐車場まで戻り酸ヶ湯に向かう。酸ヶ湯に着くと駐車場はいっぱい、温泉の前は大勢の観光客で賑わっていた。酸ヶ湯の駐車場の端にかりうじて止められ、荷物を持ってフロントで受付を済ませる。案内のお兄さんに館内の説明を受けながら部屋に行き、荷物を整理して浴衣に着替え千人風呂に向かう。広くて超



有名な風呂だが、湯に浸かるだけで石鹸やシャンプーは使用できない。ゆっくり温泉に浸かって疲れを取ったら、石鹸やシャンプーが使える玉の湯に行き体や頭を洗う。部屋に戻るとA柳さんがビールを買ってきて、楽しい反省会が始まる。皆さんが持参したおつまみが並び、今日歩いた奥入瀬溪谷の話題や明日登る八甲田山の話で盛り上がる。5時30分から夕食になり、食堂に移動する。男性達は日本酒をオーダーし、お造りや天ぷら、鍋などをおつまみに美味しくいただいた。

夕食が済んだら部屋に戻り、明日の天気予報を確認する。風は強いが雨の心配は無さそうなので、安心して全員床に就いた。

6月26日(日) 酸ヶ湯温泉から下毛無岱・上毛無岱を經由し八甲田大岳に登り、仙人岱を經由し酸ヶ湯温泉に戻り帰宅する。

酸ヶ湯温泉 7:50～下毛無岱 8:50/9:00～上毛無岱 9:50/10:00～大岳避難小屋 10:15/10:35～大岳 10:55/11:05～仙人岱 11:30/11:40～酸ヶ湯温泉 12:25/12:35＝岩手山 SA13:30/14:00＝栃木市運動公園 P19:20

5時過ぎに起床し、外を見ると明るく晴れていた。向いの夫婦は朝食を食べずに出かけるようである。我々も朝食を食べずに、5時30分に出るべきだったかなと後悔するが仕方がない。6時45分



から美味しい朝食をいただき、準備を整えたら出発する。酸ヶ湯温泉前に出ると青空が広がり、これまでの朝と違い八甲田山への期待が膨らむ。荷物を車に積んだらストレッチを行い、温泉のすぐ西側にある登山口から登り始める。樹林帯の登山道を登り、いくつかの小沢を越えて行くと城ヶ倉温泉へ分岐に出る。ここからいったん傾斜が緩やかになり、急坂を登ると視界が開け下毛無岱の湿原に出る。広大な湿原にチングルマやイソツツジが咲き、爽やか

な風を受けながら木道を歩き休憩所で休憩する。湿原を過ぎると再び樹林帯に入り、しばらく歩くと壁のような急坂が待っていた。ここが下毛無岱と上毛無し帯の境で、一直線に伸びる急な階段を一步一步登って行く。登りあげると再び広い湿原が広がり、池塘やお花畑が出迎えてくれた。チングルマの花を見ながらのんびり歩き、広い休憩所で休憩し景色を楽しみながらおやつをいただく。湿原の池塘で写真を撮る人が居るので、何を撮っているのだろうと近づくとミツガシワの花を撮っていた。あまり見られない花なので、皆さんも「へ～これがミツガシワの花なんだ。」と可愛い花を見つめていた。池塘の周りにはチングルマ



が群生し、S田さんが「八甲田山ってこんな素敵な山なんだ。又来たいね。」と満足そうにつぶやいた。湿原を抜けると再び樹林帯の道を登るようになり、ガスが掛かり風も強くなる。降りて来る登山



者はレインウエアーを着ており、我々も着なくてはと思いながら登り大岳避難小屋に着く。

避難小屋で大休止し、トイレを借りておやつを食べエネルギーを補給する。ここから大岳山頂に向かって登るが、皆さんに「ここからが今日の正念場です。山頂は風がもっと強くなりますが頑張りましょう。」と声を掛け登り始める。ガスで視界がほとんど無く、メガネに水滴が付いて何も見えない。山頂が近づくと風が増々強くなり、皆に耐風姿勢を取るように指示する。

風が息をつき弱くなった時に急いで登り、風が強くなったら耐風姿勢を取り山頂にたどり着く。大きな山頂標識の前で記念写真を撮り、直ぐに下山開始する。下山は反対側の仙人岱に向かって下るが、風が増々強くなり何度も耐風姿勢でしのぎながら降りて行く。

下り切ると平坦な道になり、風の影響もそれほど受けず仙人岱中央にある八甲田清水に着く。清廉な水がコンコンと湧いていて、清水脇のベンチで休憩を取る。湿原にはヒナザクラが一面に咲いて



いて、白い小さな花は「雪田植物の妖精」と言われる可憐な花だ。湿原を歩いて行くと、登山道が雪解け水で川になっている。どうしようかと迷っていると、後ろから来た人がバシバシと水の中を歩いて行くので我々も水の中を歩いて行く。しばらく下ると硫黄臭の漂う地獄湯ノ沢を渡し、樹林帯の道をしばらく下ると鳥居が立つ下山口に着く。道路沿いに少し歩くと右に石段があり、下ると酸ヶ湯温泉の駐車場に着く。靴を履き替えて荷物を車に積み、酸ヶ湯温泉で昼食の予定だったが、

皆さんが「まだお腹が空いてない」というので帰路につく。黒石ICから東北道に入り、岩手山SAで昼食を食べることにする。それぞれ好きな物をオーダーし、お土産をゲットしたら栃木市運動公園に向かう。高速道は渋滞も無く順調に走り、予定より早く栃木市運動公園へ帰着した。